

日比 NGO ネットワーク
2015 年度事業報告
(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

I. 事業に関する事項

2015 年度においては、前年度からの継続事業（以下(1)～(6)）の中においては、(1) 正会員間の情報交換、経験共有等の推進事業において、正会員会合を 1 回開催した。事務局レベルにおいては、正会員からの要請に応え、メール上での情報交換を効率的に推進した。他の事業においては、与えられた条件と枠組みの中で活動を効果的に展開した。なお、本年度は、2016 年度に向けた「日比 NGO フォーラム」特別事業企画案が、第 3 回運営委員会（2015 年 9 月 29 日）で承認され、助成申請書も立正佼成会一食平和基金で同年 11 月に採択された。同フォーラム事務局は、2016 年 1 月～3 月の期間、特別事業の準備活動を行った。

2015 年度の会員数は、次の通り。正会員 18 団体、準会員（団体）2 団体、賛助会員（個人）1 人。*後掲会員団体リストを参照

1. 正会員間の情報交換、経験共有等の推進

(1) 学習会：正会員同士が学ぶ相互学習会として次の学習会を実施した。

・2015 年 4 月 20 日（月）16：00～18：00（場所：日本商工会議所会議室）

「日本とフィリピンの経済界の繋がり」と NGO の連携の可能性を考える」

（講師：松岡鉄也 日本商工会議所国際部課長 ASEAN 担当）

フィリピン駐在経験のある松岡氏から現地フィリピンの企業やフィリピンに進出する日系企業の現状について講義があり、引き続き質疑応答を行った。

「フィリピンに進出している日系企業の現地駐在員の中には NGO に関心がある人もいるので、そうした人たちのために NGO 訪問の機会を提供してはどうか」という提案があった。本学習会は参加した正会員間の情報交換の場にもなった。

・2015 年 11 月 30 日（月）（場所：（公財）ジョイセフ）（正会員会合の第 II 部として）

「日本政府の対フィリピン政策（外交）と市民セクターとの連携」

（講師：松田茂浩 外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第二課 外務事務官）

松田氏は「現在の日比関係は、特に目立った懸案がなく、史上最善だと言われている」といい、最近の首脳会談の内容に触れながら、マニラのインフラ整備支援やミンダナオ支援、外国人材の活用などのテーマで日本政府の対フィリピン政策について具体的に説明した。また、松田氏は、在フィリピン日本大使館に駐在経験があり、「草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）」について意見交換することができた。

(2) 正会員間の情報交換：日比 NGO ネットワーク（以下、JPN）以下の正会員会合を開催するとともに、JPN ウェブサイトやメーリングリストを活用して、会員団体の活動やイベントなどの情報交換を支援、促進した。

・第1回正会員会合 2015年11月30日（月）13：30～15：30

（場所：（公財）ジョイセフ）

正会員 11 団体が参加。それぞれの活動の近況報告を行うとともに、事務局からは 2015 年度の JPN の活動報告、とくに特別事業「日比 NGO フォーラム」の企画について話し合った。

2. Philippines-Japan NGO Partnership (PJP) およびその正会員団体との情報交換、人的交流、協働事業の推進

Philippines-Japan NGO Partnership (PJP:19 団体加盟)との連絡調整、情報交換を継続的に行った。なお、PJP は、従来の CODE-NGO（開発 NGO ネットワーク連合）がまとめ役としての事務局を担うのではなく、課題別、分野別で自発的に緩やかなネットワークを形成する方向に変化した。

3. フィリピンへ投資する日本企業との対話の促進と協働関係に向けた環境づくり

伊藤運営委員代表が在日フィリピン商工会議所（以下、PCCIJ という）の理事に 2015 年 4 月に就任し、PCCIJ 正会員、とりわけ、理事メンバーと交流を深めるとともに、フィリピンに投資する日本企業と NGO 間の対話、協力関係の必要性や重要性を訴えた。その一環として、伊藤運営委員代表は、10 月 21 日（水）、PCCIJ が主催するセミナーで「マイクロファイナンスと女性起業家の育成～CARD MRI の役割と日本中小企業へのメッセージ～」と題する講演を行った。ほかに、伊藤代表は、毎月 1 回開かれる委員会に出席し、PCCIJ の活動計画づくりに参加し、また、PCCIJ の活動内容やイベントについて、JPN 正会員と運営委員にメールで適宜、報告を行った。

4. 国内外の関係機関等への提言活動

2014 年度に引き続き、「草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）」（2012 年度実施）フォローアップ調査の提言の実現に向け、他国で同様のフォローアップ調査を実施した他のネットワーク団体や NGO とともに、外務省にコメントを提出し、以下のレビュー会合に参加した。

2015 年 5 月 28 日（木）：2014 年 2 月開催のレビュー会合を受け、外務省が修正した「提言及び改善点一覧表（修正版）」に対するコメントを提出

2015 年 10 月 14 日（水）15:00-16:00 ：前出「提言及び改善点一覧表（修正版）」の「NGO からの意見」に対する外務省からのコメントを受けて他参加者とともに外務省にて意見交換

なお、本レビュー会合の結果は、外務省担当官により、2015年12月15日(火)開催のNGO・外務省定期協議会第2回連携推進委員会にて報告された。

【参考】2015年12月15日 NGO・外務省定期協議会第2回連携推進委員会

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page23_001111.html

5. フィリピン社会とその人々、およびフィリピンに関わる日本のNGOの協力活動等についての国内での理解促進と支持層の拡大

JPN専用ウェブサイトの充実化を図るとともに、JPNのフェイスブックページにメンバー団体のイベント情報を掲載した。

2015年度は、一般市民、とりわけ学生、企業から、フィリピン情報や、フィリピンに関わる日本のNGOに関し、月平均2～3件の問合せがあり対応した。

6. 資金調達活動

恒常の事業への資金調達活動は、限られたものとなった。

一方、後述の特別事業「日比NGOフォーラム」のための資金調達は、立正佼成会一食平和基金より150万円の助成金を得ることができた。

7. 特別事業「日比NGOフォーラム」(オリジナルの計画案の名称はシンポジウム)

2015年9月、JPN正会員から本フォーラムについての事業案を正会員団体から募ったところ、(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパンから若者を中心とした事業案が出され、運営委員の間で検討の結果、採用された。これを土台として、日比NGOフォーラム『『権利』を奪われたフィリピンの子どもの現状—日比の若者・学生共に考え、行動しよう!』を同団体代表と事務局および運営委員会代表が中心となって事業内容を立案。そして立正佼成会一食平和基金へ助成申請を提出し、助成金が11月に承認された。

その後、2016年1月より、会場の確保や企画を進めるための若者との意見交換などの活動を開始した。なお、フォーラムの題名については、2016年度(4月以降)に入り、運営に参加した若者からの意見を採り入れ修正して、「【元ストリートチルドレンが語る】開発途上国の子どもたち～フィリピンの現地リーダーを招いて～」とした。

開催予定日時：2016年7月3日(日)

開催予定場所：JICA地球ひろば

目的：

- (1) 日本の若者が、フィリピンの抱える社会問題の現実に触れ、国際的な協力活動の必要性を認識し、関心を高め、行動を起こす機会を提供する。
- (2) 日比NGOネットワーク、およびフィリピンに関わる日本のNGO間の交流、協力関係をさらに強化させ、活動を活性化する。

8. 役員の改選

2015年6月29日(月)の第1回運営委員会にて新しく運営委員が選任された。監事については本委員会で依頼を決定した高橋秀行氏が7月1日より就任した。そして7月31日に行われた運営委員全員によるメールでの投票の結果、代表、副代表が以下の通り決定した。

代表 伊藤道雄 (特活) アジア・コミュニティ・センター21 代表理事
副代表 猪俣典弘 (特活) フィリピン日系人リーガルサポートセンター
事務局長
委員 北谷勝秀 (特活) 2050 理事長
横田 宗 (特活) ACTION 代表理事
中島早苗 (特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 代表理事*
二瓶麻里 (特活) ヌエバシアファウンデーション 代表理事*
山崎登美子 (特活) ビラーンの医療と自立を支える会 事務局長
監事 高橋秀行 (公益財団法人ジョイセフ業務執行理事)

II. 組織の運営・庶務に関する事項

1. 運営委員会の開催

第1回運営委員会

日時：2015年6月29日(月) 14:30～16:00

参加者：伊藤道雄、猪俣典弘、北谷勝秀、中島早苗、片倉憲一(監事)、
(事務局：西島恵)

議題：

1. 2014年度 事業報告、決算報告について
2. 運営委員の補充について
3. 立正佼成会一食平和基金への申請について
4. 報告 1) 在日フィリピン商工会議所理事会報告について
2) PJPの今後の方向性について(PJPの非公式報告より)
3) 各委員からのフィリピン関連報告について

第2回運営委員会(持ち回り)

日時：2015年7月28日(火)および29日(水)

参加者：伊藤道雄、猪俣典弘、中島早苗、山崎登美子、北谷勝秀、二瓶麻里、横田宗

議題：運営委員会代表と副代表の選出

第3回運営委員会

日時：2015年9月29日(火) 16:00～18:00

参加者：伊藤道雄、猪俣典弘、中島早苗、山崎登美子、北谷勝秀、高橋秀行(監事)、
(事務局：西島恵)

議題：

I. 審議事項

1. PJP との関係
 - 1) 日比 NGO 協働基金について
 - 2) 今後について
2. JPN メンバー団体よりの講師派遣（出前講座）事業
3. 立正佼成会一食平和基金への申請書
4. 正会員の集い

II. 報告事項

1. ヨランダ台風報告書
2. 在日フィリピン商工会議所理事会報告
3. 草の根・人間の安全保障無償資金協力制度（GGP）に関わる外務省と NGO との第 2 回会合

臨時運営委員会

日時：2016 年 1 月 7 日（木） 15：00～16：00

参加者：伊藤道雄（ACC21）、山崎登美子（HANDS）、猪俣典弘（PNLSC、スカイプ参加）、
中島早苗（FTCJ、スカイプ参加）、事務局：西島恵

議題：

1. 立正佼成会一食平和基金の助成決定通知について
2. 事業費の不足額について
 - (1) 助成申請について
 - (2) その他、資金調達について
3. 企画内容について
4. 日程について

第 4 回運営委員会

日時：2016 年 3 月 28 日（月） 14:00 ～ 15:30

参加者：伊藤道雄、猪俣典弘、北谷勝秀、山崎登美子、横田宗（委任状）、
（事務局：西島恵）

議題：

I. 審議事項

1. 日本・フィリピン国交正常化 60 周年記念事業の可能性について
2. 2016 年度事業計画（案）
3. 2016 年度予算（案）

II. 報告事項

1. 日比 NGO フォーラム進捗状況報告

2. 会員

正会員（18 団体）

1. （特活）ACTION
2. （特活）アクセスー共生社会をめざす地球市民の会
3. （特活）アジア・コミュニティ・センター21
4. （公財）アジア保健研修所
5. （特活）イカオ・アコ
6. （公財）オイスカ
7. （特活）金光教平和活動センター
8. （公財）ジョイセフ（新規）
9. （特活）ソルト・パヤタス
10. （特活）日本ヌエバエシハ・ファウンデーション
11. （公財）プラン・ジャパン
12. （特活）ビラーンの医療と自立を支える会
13. （特活）フィリピン日系人リーガルサポートセンター
14. （特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
15. （特活）ヘルピングハンズアンドハーツジャパン
16. 立正佼成会一食平和基金（新規）
17. （特活）2050
18. （特活）WE21 ジャパン

準会員団体（2 団体）

1. （特活）国境なき子どもたち
2. LOOB Japan （正会員から変更）

3. 事務局

事務局 （特活）アジア・コミュニティ・センター21（ACC21）